

### 事業の内容

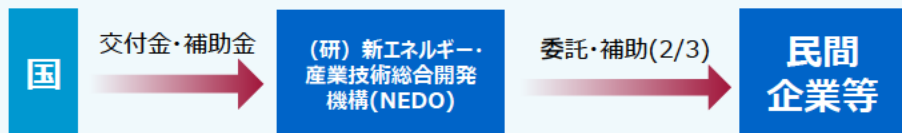
#### 事業目的・概要

- Society5.0の実現に向け、イノベーションの担い手であるスタートアップ企業は重要な存在です。特に、研究開発型スタートアップは、スピード感を持った果敢な研究開発や技術の社会実装により、技術イノベーションの担い手として期待される存在で、その創出や成長のための環境整備が重要です。
- しかし、研究開発に要する期間の長さ、資金調達の難しさ、成功ノウハウ蓄積の少なさなど、研究開発型スタートアップを取り巻く環境は依然として厳しく、自律的に創出・成長が繰り返される「エコシステム」の構築は未だ不十分です。
- このため、本事業では、J-Startup(※)に選出されるような急成長の可能性を秘めた研究開発型スタートアップに対し、その事業段階に応じて、関係者のコミットを得ながら実用化開発や社会実装等に係る費用等を支援すること(STS/PCA)や、民間有識者の知見も活用しつつ、政府の課題から設定した研究開発テーマについて、事業化・成長可能性の高い技術シーズをステージゲートにより選抜しながら、研究開発計画の実現可能性調査から連続的に支援すること(SBIR)で、成功モデルの創出とエコシステムの構築を目指します。

#### 成果目標

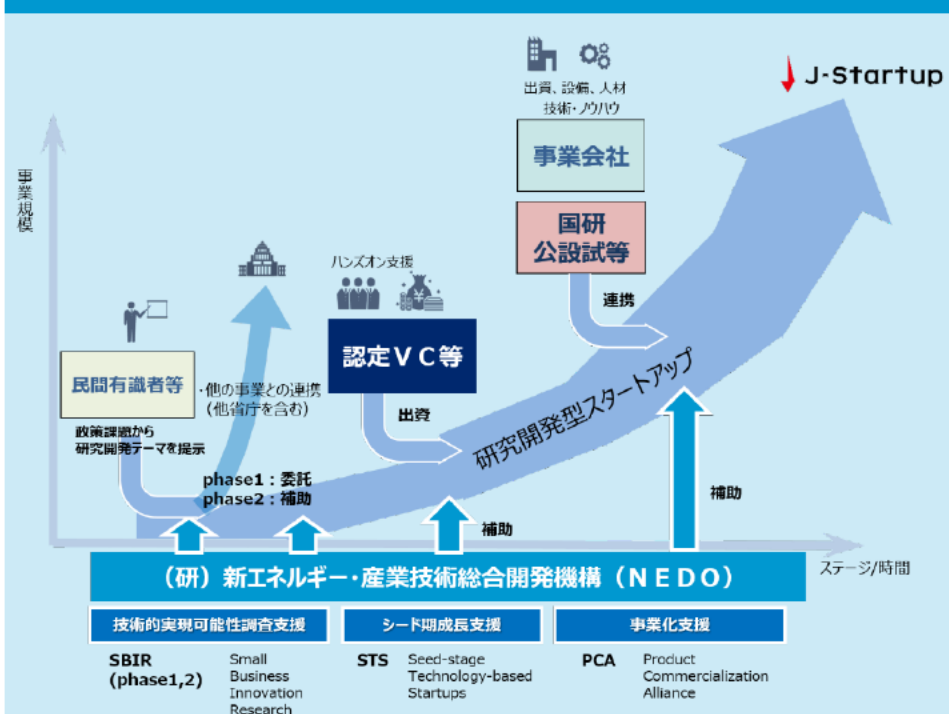
- ①事業年度毎の支援終了1年以内に次のステージの資金調達に成功する割合が5割 (STS/PCA)
- ②NEDOが本事業を開始する前と比較して、認定VCの研究開発型スタートアップに対する投資額が2倍 (STS/PCA)
- ③本事業のフェーズ1で研究開発を実施し、他省庁事業も含めフェーズ2に移行した事業者の、事業終了後5年での実用化率が30%以上 (SBIR)

#### 条件 (対象者、対象行為、補助率等)



※「J-Startup」とは、グローバルで活躍できるスタートアップ企業を官民により集中支援する取り組みです。

### 事業イメージ



#### <SBIR>

- 政府の課題から研究開発型スタートアップに適した研究開発テーマを設定し、ステージゲートを通して、事業化・成長可能性の高い研究開発シーズを実現可能性調査から段階的に選抜し、連続的に支援

#### <STS>

- NEDOが認定したVCからの出資を受けた研究開発型スタートアップに対して、実用化開発、試作品製作等に係る費用の一部を助成

#### <PCA>

- 事業会社や研究機関と連携して研究を行う研究開発型スタートアップに対して、事業化を進めるために必要な費用の一部を助成